堺市一般廃棄物処理基本計画（改定前）進捗状況（2025（令和7）年度実績）について

資料2

【１．はじめに】

進捗状況報告書は、基本計画の数値目標や重点的に取り組む施策に関する取組指標の達成や施策の着実な推進のため、5項目の数値目標や6つの取組指標に対する実績及び36の個別施策の進捗状況について取りまとめたものである。

なお、同報告書は、進捗状況の把握と併せて、現状を広く市民等に公表することにより、適正なチェック機能を働かせることも目的の1つとしており、堺市廃棄物減量等推進審議会での報告に加えて、同報告書と別途作成する概要版を配架等により広く市民に周知している。

【２．基本計画の概要】

○基本理念

～ともに取り組み、実現する。環境負荷の少ない「循環型のまち・堺」 ～

○基本方針

①4Rのさらなる推進

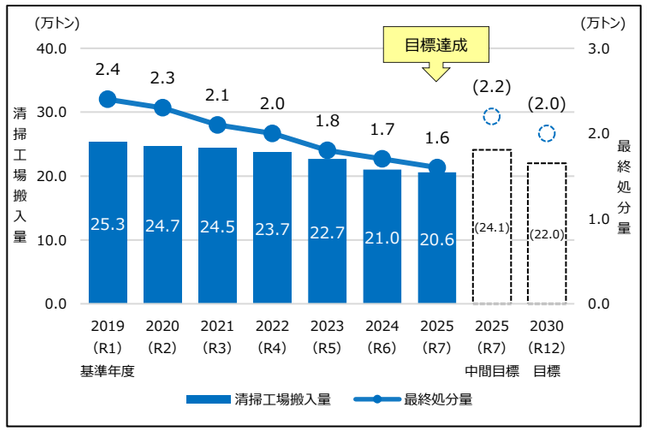
②ごみに関わる多様な主体の連携・協働

③環境に配慮した安全・安心で安定的な処理体制の構築

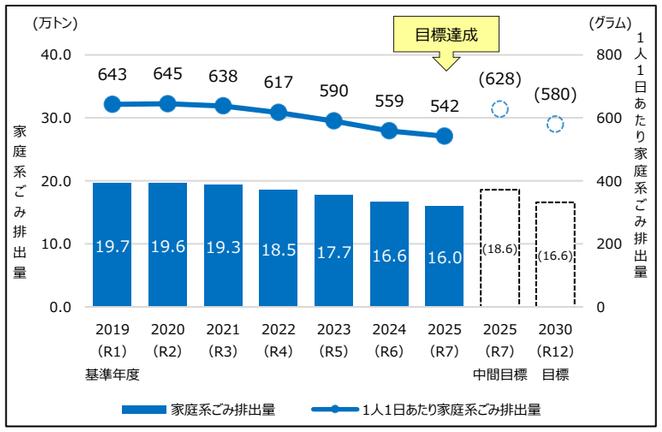
○計画期間

2021（令和3）年度から2030（令和12）年度までの10年間

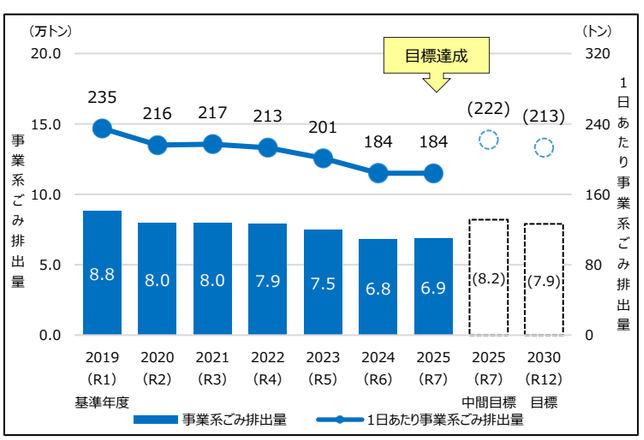
【３．計画目標の達成状況】



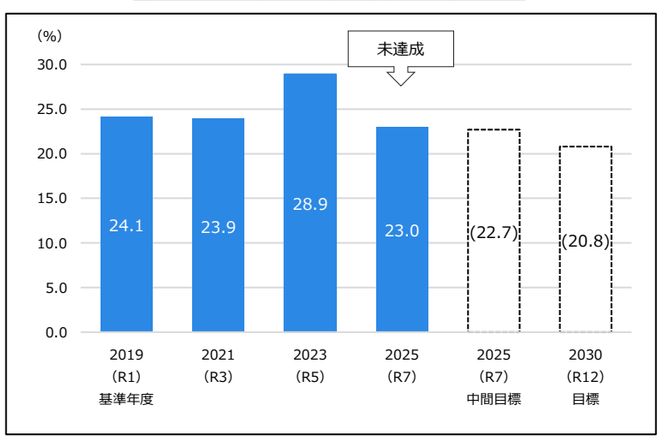
① 清掃工場搬入量・⑤最終処分量



② 1人1日あたり家庭系ごみ排出量



③ 1日あたり事業系ごみ排出量



④分別まちがい率（生活ごみ中のリサイクル可能なものの割合）

【４．取組指標の進捗状況】

項目	2019（R1）年度（基準）	2025（R7）年度（実績）	今後の方向性
生ごみに占める「手つかず食品」の割合	19.2 %	20.4%	低下
生活ごみに占めるリサイクル可能な「その他の古紙（雑がみ）」の割合	9.4 %	8.1%	低下
家庭系リサイクル率	16.6 %	14.5%	上昇
リサイクル率【事業系一般廃棄物減量等計画書の報告値を含めない場合】	17.3 %	16.9%	上昇
リサイクル率【事業系一般廃棄物減量等計画書の報告値を含める場合】	27.2 % ※１	27.6% ※2	上昇
事業系一般廃棄物減量等計画書のごみ排出量に占める「再資源化量」の割合	57 .0% ※１	59.5% ※2	上昇

※1 2018（H30）年度実績　※2 2024（R6）年度実績

【5．計画目標及び取組指標の達成状況の総括】

【計画目標について】

分別まちがい率を除く4つの目標については、いずれも最終目標を達成した。

家庭系ごみ排出量は、前年度と比較して減少している。物価高騰に伴う消費行動の変化や社会経済情勢の影響が一因として考えられるが、更なるごみ減量を推進するため、引き続き啓発や広報に取り組む必要がある。

一方、事業系ごみ排出量は前年度とほぼ同量で推移している。これは、コロナ禍以降に見られたごみ排出量の減少傾向が落ち着いてきたことによるものと考えられる。今後も事業者に対する排出抑制や資源化の促進に向けた周知・啓発を継続し、更なるごみ減量を図る必要がある。

【取組指標について】

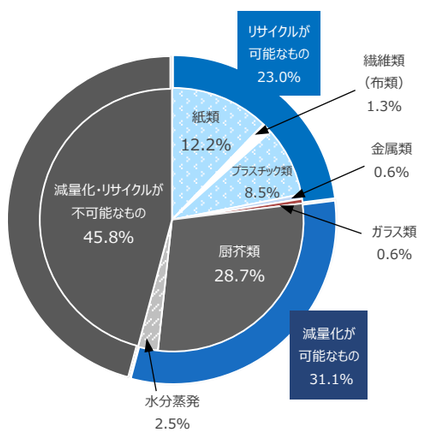
ごみの減量化は進んでいるものの、『生ごみに占める「手つかず食品」の割合』が上昇した。また、容器包装の軽量化や電子化等の影響により資源物の排出量が減少したことなどから、家庭系リサイクル率は低下した。

«参考 生活ごみ組成分析調査の結果について（2025（R7)年度）»

- 生活ごみの中に、手つかずの食品や食べ残しなど減量化が可能なものが31.1%、リサイクル可能なものが23.0%含まれている。
- 2023（R5)年度と比較した結果、紙類やプラスチック類※の割合が減少し、厨芥類や繊維類（布類）の割合が増加している。

項目	2021 (R3)年度	2023 (R5)年度	2025 (R7)年度
厨芥類	28.9%	27.6%	28.7%
紙類	12.3%	15.7%	12.2%
プラスチック類※	8.5%	10.9%	8.5%
繊維類（布類）	1.8%	1.0%	1.3%

※ペットボトルを含む。



【６．個別施策の進捗管理】　ごみの減量化・リサイクル及び適正処理に関する施策の成果を評価するために、36の個別施策シートを用いて、毎年の進捗管理を行う。また、基本計画では重点的に取り組む施策を5つ選定している。

【重点施策①】食品ロスを含む家庭系生ごみの削減

施策	主な取組	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025（R7）年度目標	2025（R7）年度主な実施内容
家庭系生ごみの減量対策の実施	「生ごみの水きり」の推進	実施					・イベント・パネル展等における、生ごみ排出時の水きり促進に関する情報発信の強化 ・SNSを活用した生きごみさんの普及啓発の実施	・「生ごみの水きり」および「生ごみの減量」に関するパネル展を実施 ・「生きごみさん」に関する出前講座（7回 計317人）を実施 ・「生きごみさん動画講座」の堺動画チャンネルへの掲載
	生ごみの減量に関する情報発信強化	実施						
	新たな生ごみ減量施策の検討・実施	調査		検討		実施		
	「生きごみさん」普及促進	実施						
食品ロスの削減	食品ロス削減に関する情報発信強化	実施					・フードシェアリングサービスの情報発信強化 ・食品ロスの削減に取り組むエコショップ登録店舗の拡大（3店舗増） ・食品ロスダイアリーの利用促進（一般公募150人） ・エコレシピを料理サイトに掲載 ・食品ロス削減推進サポーター育成オンライン講座の受講促進 ・民間事業者と食品ロス削減に関するイベントを開催	・エコショップ登録店舗の拡大（4店舗増加） ・食品ロスダイアリーの実施（45人参加） ・エコレシピを料理サイトに掲載（16件） ・食品ロス削減推進サポーター育成オンライン講座の受講促進（講座受講団体　6団体） ・食品ロスに関する出前講座（1回 計15人）を実施
	「エコショップ制度」の拡充	実施						

【重点施策②】家庭系古紙類の回収強化

施策	主な取組	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025（R7）年度目標	2025（R7）年度主な実施内容
集団回収の更なる促進	集団回収未実施地域の解消	実施					・集団回収未実施地域把握に向け、確認作業を実施 ・「その他の古紙回収体験袋」等を活用した「その他の古紙」の分別・回収強化 ・集団回収報償金交付申請及び実施団体登録変更届のICT化開始	・集団回収実施団体を対象にしたアンケート結果等による集団回収の未実施地域調査を完了 ・古紙回収拠点となっている新聞販売店や各区民まつりで「その他の古紙回収体験袋」を希望者へ配布 ・集団回収報償金交付申請手続きの電子申請受付を開始
	「その他の古紙」の更なる分別・回収	実施		検証・更なる回収・促進				
	集団回収の継続実施に向けた取組の推進	実施						
新たな古紙回収体制の構築	古紙回収体制（分別収集／拠点回収）の新たな構築	調査・検討				構築	・民間事業者による古紙回収拠点の設置支援（5拠点増） ・移動式古紙回収やイベント回収の検討・随時実施 ・古紙回収を行うエコショップ登録店舗の拡大（1店舗増）	・民間事業者による古紙回収拠点の設置（8拠点増） ・移動式古紙回収拠点導入の検討 ・区民まつりやリユースイベント等で古紙臨時回収を実施 ・民間事業者へ古紙回収拠点開設の依頼と合わせてエコショップ登録を勧奨
	民間事業者との連携	実施						
	「エコショップ制度」の拡充	実施						

【重点施策③】ごみと資源の分別徹底

施策	主な取組	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025（R7）年度目標	2025（R7）年度主な実施内容
未分別ごみに対する指導強化	生活ごみ等の適正排出率向上に向けた指導強化・情報発信	実施					・不適正排出が是正されない集合住宅の所有者・管理会社へ直接指導を実施 ・ペットボトル適正排出推進のため、戸建住宅への排出者指導や啓発を実施 ・プラスチック製容器包装廃棄物再商品化計画の着実な実施のため、分別収集物の収集において異物混入を減少させるべく、排出者への指導および啓発活動を委託業者と連携して実施	・不適正排出が是正されない集合住宅に関して、所有者・管理会社への直接指導を実施 ・市内戸建て住宅のペットボトルの適正排出の指導を実施 ・委託事業者と連携し生活ごみや資源ごみにおける不適正排出物に啓発シールを貼付・残置対応を実施
	集合住宅への指導強化	実施						
未分別ごみに関する情報発信の強化	ごみと資源の分別徹底に向けた情報発信	実施					・分別まちがい率減少のため、SNS等で分別方法について継続的な情報発信を実施 ・ペットボトルの適正排出率の向上に向けて、駅広告や集合住宅へのポスター掲示を実施	・ごみの減量化・リサイクルに関する情報についてX（旧Twitter）で情報発信（81件） ・ペットボトルの適正排出率の向上に向けて、駅広告や集合住宅へのポスター掲示を実施
	自治会等への情報発信	実施						
	「資源とごみの分別大辞典」の見直し	実施				随時配布		

【重点施策④】事業系ごみの減量化・リサイクルに関する情報発信

施策	主な取組	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025（R7）年度目標	2025（R7）年度主な実施内容
事業系ごみの減量化・リサイクルに関する情報発信	事業系ごみの減量化・リサイクルに関する情報発信	実施					・市ホームページや事業系ごみ減量情報紙「堺ムーSTYLE」を用いて、ごみ減量化・リサイクルの情報発信を実施 ・優良事業所の表彰制度の検討 ・事業者向けオンラインセミナーの実施	・事業系ごみ減量情報紙「堺ムーSTYLE」を商工会議所報（約6,000社）へ掲載及び、「さかいIPC経営支援メールマガジン」（約1,200社）、「サポーター企業向けメルマガ」（約1,100社）で配信 ・事業系一般廃棄物減量オンラインセミナーを実施
	少量排出事業者に対する情報発信の強化	実施						
	優良事業所の表彰制度構築	調査				検討		

【重点施策⑤】事業系一般廃棄物リサイクル体制の整備

施策	主な取組	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025（R7）年度目標	2025（R7）年度主な実施内容
大阪府エコタウンプランとの連携による処理体制の確保	大阪府エコタウンプランとの連携によるリサイクル体制の確保	実施	処理体制の維持				・エコタウン（サーキュラーフィールドOSAKA）内の民間再資源化事業者への処理体制充実に向けた調整を実施 ・大規模建築物事業者への訪問時にエコタウン（サーキュラーフィールドOSAKA）内の民間再資源化事業者を案内	・民間再資源化事業者数：2者 ・エコタウン（サーキュラーフィールドOSAKA）内の民間再資源化事業者への訪問調査を実施 ・大規模建築物事業者への訪問時にエコタウン（サーキュラーフィールドOSAKA）内の民間再資源化事業者を案内
	エコタウン活用の促進	実施						
民間再資源化事業者との連携強化	民間再資源化事業者との連携	実施	調査	積極的な案内・実施			・大規模建築物事業者の訪問時での案内の継続	・大規模建築物事業者の訪問時にエコタウン（サーキュラーフィールドOSAKA）内の民間再資源化事業者を案内
	民間再資源化事業者の活用に向けた情報発信	実施						